



日時：2025 年 12 月 18 日（木）19:00～20:30

会場：Zoom

出席予定理事：赤木 穎治、石津 智子、稻井 慶、今井 靖、岩田 祐輔、上村 秀樹、榎本 淳子、大内 秀雄、落合 亮太、小野 博、笠原 真悟、桂木 真司、齋木 佳克、坂田 泰史、坂本 一郎、塩瀬 明 庄田 守男、先崎 秀明、立野 滋、辻田 賢一、長坂 安子、中埜 信太郎、旗 義仁、檜垣 高史、兵藤 博信、平田 康隆、平松 健司、水野 芳子、宮崎 文、八尾 厚史、山岸 敬幸、山村 健一郎、吉松 淳（33 名）

欠席予定理事：新川 武史、瀬尾 由広、照井 克生、三谷 義英、安田 聰（5 名）

監事：松尾 浩三、森 善樹

顧問：市田 路子、丹羽 公一郎、松田 晖

1. 開会

理事の過半数が出席し、本理事会が有効に成立したことを宣言された。

2. 報告事項

報告事項 1：前回議事録報告（担当：赤木理事）

報告事項 2：各委員会委員長より報告（各委員長）

・将来構想委員会（赤木理事、稻井理事）

理事の定数について、現行の定款では 30 名程度とされているが、現在 38 名の理事が在籍している。将来構想委員会において、原則として理事数を増やさない方針が決定されたことが報告された。

・学術委員会（稻井理事）

研究部会（石津理事）

期間内の新規応募はなし。来期以降、研究サポートの公募期間を設ける予定。

教育部会（山村理事、赤木理事）

ACHD NIGHT 登録状況について【資料 1,2】

「ACHD NIGHT」の視聴状況を報告。新エコーエキスパート回で 250 名の登録があるなど、高い需要を確認。アーカイブ配信の継続可否についても検討。

YIA 選考部会（八尾理事）

1月の学術集会でYIA受賞者の講演を行う予定。
学術集会企画部会（檜垣理事）
事務局主導での企画が進行中。

・学会編集委員会（坂本理事）
投稿は順調。査読者の確保が課題。

・専門医制度委員会（石津理事）
関連学会について規約改定。CVIT、日本心臓リハビリテーション学会を追加。
地方会は除外。赤木理事長より「Asia-Pacific ACHD Symposium」の追加が提案された。外科系更新要件については、手術実績の緩和、内科同様の単位制への移行が決定された。

試験問題作成部会（宮崎理事）
第3回専門医試験（受験者約50名）の問題作成を完了。画像診断を多く含む形式にブラッシュアップされた。作成側の負担も考慮。

専門医認定部会（立野理事）
認定専門職：看護、精神科、産婦人科等から10名の応募があり、全名承認された。

修練施設部会（八尾理事）
来年度は更新施設が多く、基準に達しない施設への事前相談検討。

・移行医療・専門医制度普及委員会（三谷理事）

・倫理委員会（宮崎理事）
特記事項なし。

・保険委員会（小野理事）【資料3】

1) 令和8年度診療報酬改定について

他学会と共同で「移行期支援」関連等の要望を3件提出済み。12月末の基本方針を注視。

・移植委員会（斎木理事）
日本循環器学会心臓移植委員会において、心腎同時移植など複数臓器移植の議論が開始されたことが報告された。ACHD領域では重要。

・涉外委員会（笠原理事 赤木理事）

笠原理事より、香港で開催された WCPCCS において外科系ファカルティが少なかった問題が報告。次回は 2029 年ブラジル・サンパウロで開催予定。JCK 三か国フォーラムは 2026 年 4 月に韓国インチョンで開催予定。APSACHD は 2026 年 6 月 18~20 日にインドネシア・バリ島で開催予定。2027 年は韓国での開催が予定。

・広報交流委員会(山村理事)

ACHD TIMES は第 44 号まで刊行。Journal Watch も順調に継続中。スポンサー契約も来年後半まで継続。赤木理事より、成人先天性心疾患患者の加齢に伴う合併症（糖尿病、肥満、高血圧等）の管理に関するポジションペーパー作成の提案あり、次回以降の理事会で検討。肝臓学会・小児循環器学会との三学会合同で作成したフォンタン診療の手引きについて、英文版を来年春に Hepatology Research および Circulation Journal に投稿予定。

・財務委員会(立野理事)

(審議事項で報告)

・多職種専門職委員会(水野理事)

学術集会の企画に向けて打ち合わせを進めている。

＜関連委員会＞

・日本循環器学会学術委員会、先天性心疾患成人先天性心疾患部会（山岸理事）

日循から依頼された国民向けの先天性心疾患診療に関する提言について報告。三谷理事、山村理事より先天性心疾患領域の文言が乏しいとの指摘があり、追記を要望した。

・成人先天性心疾患対策委員会：循環器内科ネットワーク(八尾理事)

9 つの多施設研究が進行中であることが報告された。レジストリについては、2025 年 12 月までのデータを収集し、5 万例を目標に次の論文を準備する予定。

報告事項 3：

第 26 回日本成人先天性心疾患学会学術集会収支報告（大内理事）【資料 4】

750 名の参加があったことが報告された。企業協賛金の確保や会場費の高騰に苦労したが、最終的に若干の黒字。

第 27 回日本成人先天性心疾患学会学術集会について（坂田理事）

2 日間、4 会場の開催。ACP 特別講演やハンズオンセミナー（TPVI/ASD）を企

画。抄録集の事前送付廃止を再確認

第 28 回日本成人先天性心疾患学会学術集会について（斎木理事）

2027 年 1 月 22～23 日、仙台国際センターで開催予定。副会長には東北大学循環器内科・安田聰教授。

第 29 回日本成人先天性心疾患学会学術集会について（稻井理事）

2028 年 1 月の第 2 週土日に一橋講堂で開催予定。テーマは検討中。2 日間開催か 3 日間開催かは今後決定する。

第 30 回日本成人先天性心疾患学会学術集会について（2026 年 1 月新理事会で決定）

循環器内科領域の会長が担当予定。2026 年 1 月の新理事会で決定する。

審議事項

1. 会計報告(立野理事)【資料 5】

学術集会収支が当初予算より 900 万円あまり増となったが、全体としてはほぼ例年通りの水準。専門医試験実施年はほぼ収支均衡、非実施年は黒字となる傾向。監事（松尾・森）より、監査報告があり、決算報告は承認された。

2. 予算案確認(立野理事)【資料 6】

2025 年予算案が提示。次回理事会および総会で承認予定。

3. 事業報告(赤木理事)【資料 9】

事業報告が行われた。

4. 退任予定理事および名誉会員への推薦(赤木理事)

退任予定理事 5 名（赤木禎治、庄田守男、平松健司、大内秀雄、水野芳子）の名誉会員への推薦が提案され、承認された。

5. 専門医の新規受験および更新条件に関する関連学会の規定の改定案(石津理事)【資料 10】

報告事項にて審議済み。承認された。

6. 成人先天性心疾患専門医制度 外科系更新申請要件の見直しについて(石津理事)【資料 11】

報告事項にて審議済み。承認された。

7. 認定専門職の審査・承認(立野理事)【資料 7】

認定専門職 10 名の審査結果が報告された。書類審査の結果、全員が基準を満たしており、全員の承認が提案され、承認された。認定専門職は 2025 年 1 月の学術集会で表彰予定。

8. 新評議員の審査・承認(赤木理事)【資料 8】

新評議員 17 名が出席理事の過半数の賛成により承認された。なお、同一施設からの複数推薦により 3 名が辞退した。

9. 新理事の審査・承認

今回は定年等により 5 名の現理事が退任されるため、原則として同じ領域を補充。(循環器内科領域 2 名 小児循環器領域 1 名 心臓血管外科領域 1 名 多職種領域 1 名) 審議の結果それぞれ 2/3 以上の理事の承認を得て、以下に決定した。

多領域専門職: 山崎 啓子 (評議員ではないが、業績および教育活動への貢献を評価)

心臓血管外科: 小田 晋一郎 (主任教授としての立場と外保連等での経験を評価)

小児循環器: 竹内 大二 (不整脈・デバイス治療の専門性と長年の実績を評価)

循環器内科: 泉 知里 (国循からの継続性および全国区の専門性を評価)

椎名 由美 (長年の学会貢献と研究教育実績を評価)

3. 次回理事会日程について

2026 年 1 月 8 日 (木) 16:00 - 17:00 神戸国際会議場 (第 3 会場 501)

4. 閉会